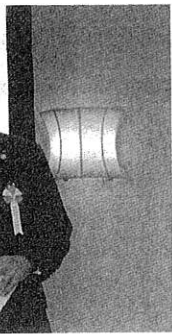




ゴドfrey氏

THE IMPERIAL HOTEL JAPAN
株式会社

「P&I保険の重要性」をテーマに、最新の市場動向やリスク管理の観点から、P&I保険の役割を解説した。また、近年の自然災害の増加に伴い、船体の損傷リスクも高まっていることが指摘された。



佐野氏

セミナー開催に先立ち、野井氏があいさつした。野井氏は、自身の親会社であるインテリジェント・インシュランス・グループでクルー・フロンティアを率いる佐野氏を紹介した。

J E I B ジャパン

P & I 保険セミナー開催

専門家が最新マーケット情報紹介

J E I B ジャパンは10月31日、東京都千代田区の帝国ホテルで「P & I 保険 最新マーケット情報セミナー」を開催した。同社とP & I 保険(船主責任保険)で提携する世界的ブローカー、カンピアン・リッソのアジア地域責任者を務めるウェイン・ゴドfrey氏がP & I 保険市場の最新動向などについて紹介した。当日は海運企業などから多数が参加した。

セミナー開催に先立ち、野井氏があいさつした。野井氏は、自身の親会社であるインテリジェント・インシュランス・グループでクルー・フロンティアを率いる佐野氏を紹介した。野井氏は、自身の親会社であるインテリジェント・インシュランス・グループでクルー・フロンティアを率いる佐野氏を紹介した。

また、今年から来年にかけての市場動向では、いくつかのリスクが高いコンバインドレシオを理由に保険料率の引き上げを進めているが、投資収

益やフリーリザーブの蓄積を踏まえると、料率引き上げに対して船主の支持を得るのは難しいとの見解を示した。

講演の後半、ゴドfrey氏は主要な海運マーケットの一つで、P & I クラブにとって戦略的に重

クレーム担当者によるパネルディスカッションも



関心高いトピックでパネルディスカッション

要なリシヤ市場でのビジネスの特徴や各クラブの役割について、各クラブの代表者がパネルディスカッションを行った。

取りなどを紹介した上で、日本の船主への教訓として、「ギリシャのオーナーは一般的に自分の感情を率直に表現し、P & I クラブおよびブローカーに対して非常にオープンに意見を伝える。クラブとオーナーが良好な関係を維持するために



小田氏

はコミュニケーションが非常に重要になる」と述べた。休憩を挟んだセミナー後半には、各P & I クラブによるパネルディスカッションが実施された。J E I B ジャパンの河合寿宣氏が司会進行を務めた。

セミナーの最後にJ E I B ジャパン社長の小田田氏があいさつし、「今回でカンピアン・リッソ

P Mutual、UK P & I のクレーム担当者7人が、「重大海難発生」「イエメン航海」「タークフリート」「米中間税」「代替燃料」「国際制裁(サンクション)」などのトピックについて質問に答えた。海難事故発生後24時間以内の初動対応についての質問では、「対応を対外的に対内的に分け、衝突・座礁の事実確認、船員の安全確保、汚染防止、関係当局への通報、専門家との連携などが重要になる」といった、クレーム担当者ならではの実践的な回答が出され、出席者は感心していた。

終り後には、会場を移して懇親会が行われ、セミナー参加者は飲み物や食事を手に取りながら、スピーカたちと歓談していた。